

議員全員協議会

日 時	令和3年3月19日（金） 開会中	10時56分 開会 11時15分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 中野康子 副議長 15番 大井俊彦	
	1番 鈴木長馬	2番 濱崎一輝 3番 原口康之
	4番 吉田富士雄	5番 平口朋彦 6番 藤野 守
	8番 植田博巳	9番 村田博英 10番 良知義廣
	11番 澤田隆弘	13番 太田佳晴 14番 大石和央
欠席議員	12番 鈴木千津子 7番 名波喜久	
傍聴議員		
事務局	局長 原口 亨 次長 原口みよ子 書記 大塚康裕 書記 森田さおり 書記 本杉周平	
説明員	市長、副市長、教育長、建設理事、総務部長、企画政策部長 政策監	

署名 _____ 議長

開会の宣告

○議長（中野康子君）

皆様、すみません、当局の要請でございましたけれども、大変長くお待たせをいたしました。今から、臨時の議員全員協議会を始めます。

2 市長報告

○議長（中野康子君）

まず最初に、市長報告のほうから、お願いいたします。

市長。

○市長（杉本基久雄君）

皆さん、きょうは、当局側から臨時の全員協議会をお願いさせていただきまして、議員の皆さんには、大変長い時間、お待たせをさせてしまいまして、大変申しわけございません。

それでは、きょうの臨時の全協につきましては、人事異動の内示ということで、先ほど出させていいただきましたので、その報告をさせていただきたいというふうに思います。

そうした中で、本年度は、定年退職者をはじめまして、普通退職者等合わせまして、19名が退職をいたします。部長、課長職の異動につきましては、最小限にとどめ、昇格については適材適所、能力等を考慮して決定をいたしました。

全体の異動規模といたしましては、課名変更等も含めると、中規模なものとなりました。なお、国土交通省からの人事交流職員の山田君を、飯塚君が定年延長後の退職ということでありますので、建設部長に登用いたしました。これは、国土交通省のほうにも、私は何回はお邪魔をして、ご理解いただいて、異例の3年目という形で登用させていただくということであります。

職員からも、市民からも非常に信望が厚いという方ですので、一年、部長職としてご活躍いただいて、また国のほうへ帰っていただいて、活躍いただこうということで、登用いたしました。

そして、静岡県からの建設理事とともに、建設施策の推進を図るということであります。

山田部長については、建設部全体を仕事をしていただくわけですが、森西理事については、県営事業でありますとか、あるいは都市計画事業、あるいは牧之原インターチェンジ北側の高台開発、こういったものを主に担っていただくということで、お願いをさせていただいたところであります。

そして、防災監につきましては、近藤防災監が3年の任期を迎えるということから、後任となる危機管理監を防衛省にお願いをしていたところでございますが、防衛省は今年度から定年延長制度を始めているということで、非常に退職者が少ないという中で、我々のところに派遣をいただけるような状況にならなかったということでもあります。

このために、危機管理監を職員から充てました。糸田市民生活部長を危機管理監として登用いたしました。また、その業務をサポートしてもらうために、危機管理補佐官という形で、会計年度職員として、そうした防衛省等のOBでどなたかないかということで公募させていただきましたけれども、選考の結果、前防災監であります、鈴木精治氏を任用することといたしました。

業務の内容といたしましては、危機管理事案における、市長あるいは危機管理監への助言、そして防衛省等との交渉、そして市民への防災講演等を行っていただくということで、そうした連携におけるサポートを想定しているところでございます。

続きまして、保育園及び幼稚園園長の2人を勤務延長して、切れ目ない事務を行うことといたしました。

そうした中で、女性登用につきましては、係長以上の女性職員は24人となりまして、全係長職以上の114人に対しまして、21.1%となりました。そして、新規採用職員であります、事務職、保健師及び栄養士の11人、そして各事業に対応するための専門職、技師、臨床心理士、図書司書を4人、また、情報発信及び保育園運営のための任期付職員を3人の、計18人採用いたしました。

情報発信につきましては、これまでもシティセールス、あるいは市のロゴを決めるとか、つくったりと。あるいはLINEの登録者をふやす。さまざまな情報発信について、これまで取り組んできたわけですが、さらにそうした情報発信を力を入れようということで、市の内外を問わず情報発信は大変重要ということから、外部から即戦力となる広報担当ということで人材を公募させていただきました。

そうした中で、現役のテレビ局の記者から手が挙がりまして、応募がございまして、これまでテレビ静岡のこの志太榛原地域担当の山田記者から応募がありまして、選考の結果採用することといたしまして、情報交流課の係長として即戦力として活躍していただくような配置を行いました。

そして、人事交流、そして外部団体の職員派遣につきましては、人的ネットワークの構築、さまざまな実務経験のために、引き続き行っていきたいと。

後ほど、詳細を総務部長より説明をさせていただきます。

そして、静岡県との人事交流、派遣についても継続をいたしまして、令和3年度はそういったもの全て合わせまして11人の職員を派遣することといたしました。

以上が人事異動内示の概要であります。後ほど、詳細は総務部長より説明をさせます。

そして、私のほうからもう一点、新型コロナウイルス感染症の対応の地方臨時創生交付金事業について、少し説明をさせていただきます。

12月に感染防止の観点から、庁舎のトイレの手洗い、これを自動水洗にするということで補正を組ませていただいたわけですが、そして発注もさせていただいたところでもあります。そうした中で、各、やっぱり全国の市町村、あるいはいろいろなところで、新型コロナウイルス感染症の臨時交付金を活用して、そうした手洗いを新たにするというところが非常に多くございまして、コロナ関係でそういった注文が急増して、榛原庁舎のほうは何とか確保できたという状況であり

ますが、相良庁舎分について、納期が4月以降になってしまうと。これは、繰越措置が取ってご
ざいませので、緊急的な措置として、3月末までにそうした状況から見込めないものですから、
水洗に係る経費をその他の必要な感染防止資材等の購入に変更させていただきますので、これま
で補正予算を取らせていただいた時の内容と少し変わるものですから、ご理解をいただきたい
というふうに思います。

この交付基金を有効に活用することにつきまして、議長、副議長にも相談させていただいて、
事業を進めさせていただいているところでございますので、よろしくお願いをいたします。

私からは以上でございます。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。人事の件は、皆様、今お話があったとおりでございますので。

何か、ご質問があれば。

○市長（杉本基久雄君）

先に、総務部長のほうから。

○議長（中野康子君）

じゃあ、お願いいたします。

○総務部長（大石光良君）

それでは、令和3年4月1日付の人事異動の内示の関係につきまして、資料に従いまして説明
をさせていただきます。

資料1をごらんください。まず、1の異動方針でありますけれども、今回、先ほど市長のほう
から話もありましたように、部長の退職者が2名ということで、建設部長と、それと防災監の2
名が退職することになります。

そうした中で、各施策の継続的な対応を考慮するというのと、部課長の登用、配置につつま
しては、指導力、調整能力、そうしたものを総合的に考えて配置をするということが、異動方針
の一点目であります。

二点目としましては、適材適所、経験を重視しまして、各施策の対応でありますとか、業務内
容の変更に伴う執務体制のほうを考慮して人事配置をする。

それと三点目としましては、職員の意向調査というのを毎年取っておりますので、その辺も参
考にしながら人事配置をするというようなことが、今回の異動の方針であります。

2番の人事異動の概要についてでありますけれども、今回につきましては、部長職の異動は2
名、それで部長職への昇格は1名ということで、課長職の異動については11名、課長職への昇格
が6名ということで、そのほかの異動を含めまして、全体で129名が異動ということになりまし
たので、規模としては中規模の異動だということになります。

今回、職員の配置につきまして、先ほど言いましたように、個人の意向調査等を取っているわ
けですけれども、異動希望が70人あったうちの34人が今回の異動になったということになります。

3番目の退職者の19名の内訳でありますけれども、定年が5人、任期付が5人、普通退職が6

人、再任用が3人ということで、合計で19名となっております。

4番目の新規採用職員でありますけれども、事務職が今回9名、それで保健師が1名、栄養士が1名ということで、新規採用の職員については11名ということですね。

そのほかに、専門職についても4名を採用しているということですが、技師が1名、臨床心理士が1名、図書館司書が2名ということで4名となっております。

このほか、任期付の職員につきましては、先ほど市長のほうからありました情報発信の関係に加えまして、保育園の保育士1名と、それと給食管理員1名を任期付として採用しているということでもあります。

あと、そのほか、先ほど園長先生の2名につきましては定年延長ということで2名をさせていただいております。

あと、園長先生で今お勤めの方で、2名については再任用という形で、福祉こども部のほうで事務職として働いていただくということを予定しております。

3番目の人事交流等についてでありますけれども、今回11名を派遣するということが、国土交通省の関係については、国とのパイプ役として円滑に事業を推進したいということがありまして、国道事務所と河川事務所のほうに1名ずつ派遣する予定であります。

そのほか、静岡県への交流職員が1名、③としまして関係団体への派遣ということで、ここに記載がありますような団体、7団体に対しまして8名を派遣するということが予定をしております。

説明については以上であります。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

では、ちょっとお聞きしたいことがありましたら、挙手、お願いいたします。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

人事に関する事なので、個人的などうのこうのではないんですけども、考え方としてお聞きしたいんですけども、今回、学校教育専門監が廃止されたということですよね。

学校教育専門監は部長職に準ずるものだというので、創設のときも、以前あった専門監を復活させるという、専門監はポストの創出に当たるんじゃないかということを議場でもお話をさせてもらって、専門監はその後、政策監はいたんですけど、政策監、防災監はいたんですけど、専門監はその後、しばらくいなかったんですよね。それを新たに、また専門監を創設するよということで、その理由としては、やはり学校再編計画というところが主だった必要性の理由だったのかなと理解をしているんですけども、わずか1年ですかね、1年ですよね。わずか1年で、必要だからこそ創出した専門監を、わずか1年で廃止してしまうということは、それでまた恐らくですけども、教育文化部長がその役職を担うと思うんですよね。教員文化部長職1名では無理だって言ったらおかしいんですけど、1名ではちょっとやりおおせないということで立てられた

専門監が、わずか1年で廃止されるっていったら、申しわけないんですけども、昨年のは結局ポストの創設だったんじゃないかというふうにも、うがった見方を取られかねないと思うんですね。

このことについて、どういうふうに思われるというか、どういう見解でこういうふうになったのか。

学校再編計画の取りまとめって、今まで答申をいただく準備はずっとしていましたよね。今度、答申を受けて、さあここから再編計画をつくるんだという、このタイミングでそれがいなくなるというのは、専門監としてどうだったのかなというふうになるんですけど、どう判断されますか。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

令和2年度につきましては、学校再編計画の策定委員会が、令和元年度からですが含めて、約1年半の間に15回ほど委員会をやったり、あるいは意見交換会をやったり、その取りまとめに非常に多岐にわたった業務をこなしていただきました。

そういった中で、教育委員会の中で二輪体制で、それぞれある程度業務を分けながら、教育文化部長については統括をしていただきながら進めてきたわけであります。

そういう中で、今回、今年度末に答申をいただいて、その後、市が再編計画をつくるという中において、いろいろ検討させていただいたんですが、司令塔として教育長がいて、教育文化部長がいる。そして、さらに体制としては、教育委員会だけで担うというよりも、私は50年あるいは100年の計ということで、全庁体制で取り組むべきだということで、司令塔は今度は市が計画をつくると。いわゆる学校だけではなくて、まちづくりという観点を含めて、市の関係する各部局から職員を集めて推進会議的な策定委員会といいますか、市の今度は計画をつくる部隊を、課を越えて全庁体制でつくるということで考えています。

そういったことで、そこを補うという部分においては、推進会議をつくって、そして多くの市民の皆さんの当然意見も聞きながらというようなことで、そこは推進体制をしっかりと改めて構築するというで考えておりますので、そういった意味で、指示命令系統を一つに、もう一度再編成をしたということでございます。

○議長（中野康子君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

そういった意図があるのであれば、言ってみれば、今までお一方が全面的に担っていたことを、今度組織として代替で担っていくということであれば、納得はできる理由だと思います。

以上です。

○議長（中野康子君）

そのほか、よろしいでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

3 その他

○議長（中野康子君）

それでは、以上で臨時の全員協議会を終了させていただきます。みなさま、ご苦労さまでした。

〔午前 11時15分 閉会〕